

PALTEK

(JASDAQ:7587)

2011年12月期 第2四半期決算説明会

2011.8.9 (火)

 **アジェンダ**

- ① 2011年12月期 第2四半期
業績結果
- ② 2011年12月期 業績予想
- ③ 進捗報告:新規取扱商材の拡充
- ④ 新たな取り組み:
スマートグリッド事業の本格立ち上げ



2011年12月期 第2四半期 業績結果



2011年12月期第2四半期 業績結果(3ヶ月)

(百万円)	2010年 第2四半期	2011年 第2四半期	増減額	増減率	主な増減理由
売上高	4,236	4,424	188	4.5%	
売上総利益	755	778	22	3.0%	
売上総利益率	17.8%	17.6%	△0.2	—	
販管費	639	688	49	7.8%	人員の増員等により増加
営業利益	116	89	△26	△23.1%	
営業利益率	2.7%	2.0%	△0.7	—	
経常利益	155	141	△13	△8.8%	ドル円相場が円高に進行し、 為替差益54百万円を計上
四半期純利益	86	74	△12	△14.5%	

PALTEK 2011年12月期第2四半期 業績結果(累計)

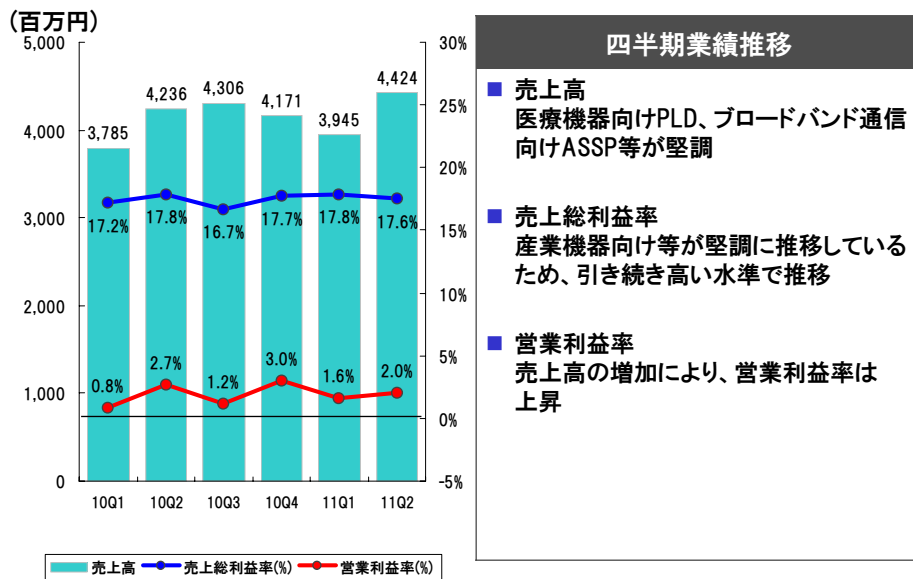
(百万円)	2010年 第2四半期	2011年 第2四半期	増減額	増減率	主な増減理由
売上高	8,021	8,370	348	4.3%	
売上総利益	1,406	1,480	74	5.3%	
売上総利益率	17.5%	17.7%	0.2	—	
販管費	1,259	1,329	70	5.6%	人員の増員等により増加
営業利益	147	150	3	2.4%	
営業利益率	1.8%	1.8%	0.0	—	
経常利益	186	170	△15	△8.5%	ドル円相場が円高に進行し、 為替差益25百万円を計上
四半期純利益	95	54	△41	△43.0%	特別損失として、資産除去債務 △34百万円を計上

FY2011 Q2 Results Reporting

5

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

PALTEK 業績推移



FY2011 Q2 Results Reporting

6

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

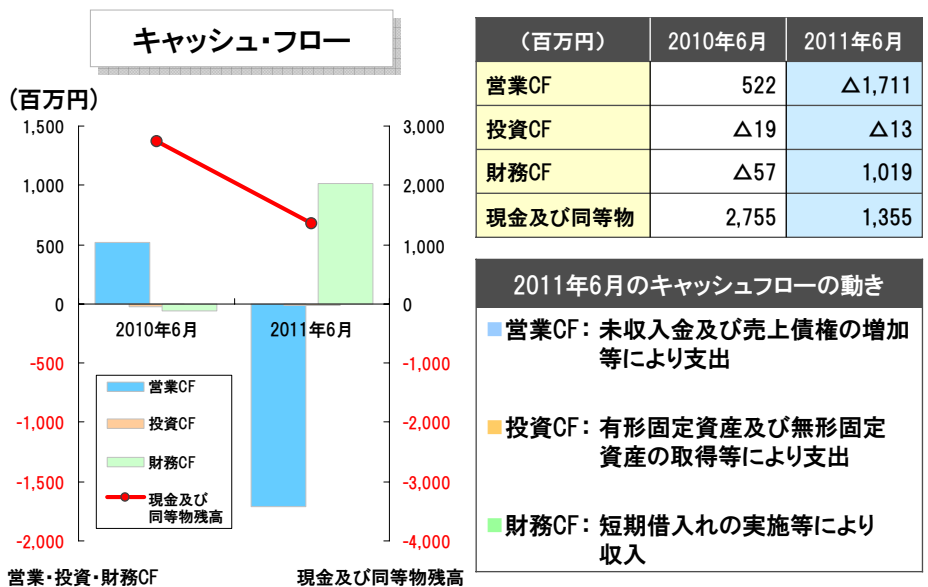
2011年12月期第2四半期 貸借対照表増減

	(百万円)	2010年 期末	2011年 第2四半期	増減額	主な増減理由
資産内訳	現金及び預金	2,026	1,355	△670	買掛金の支払を実施したため、減少
	売上債権	3,485	3,944	459	
	商品	1,635	1,422	△212	
	その他流動資産	2,160	3,695	1,534	仕入値引債権の増加により未収入金が大幅に増加
	固定資産	467	416	△50	
資産合計		9,774	10,835	1,061	
負債・純資産内訳	仕入債務	566	458	△108	
	短期借入金	—	1,100	1,100	買掛金の支払に充当するため、借入実施
	その他流動負債	888	984	95	
	固定負債	234	238	4	
	純資産	8,084	8,053	△30	
負債・純資産合計		9,774	10,835	1,061	

FY2011 Q2 Results Reporting

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

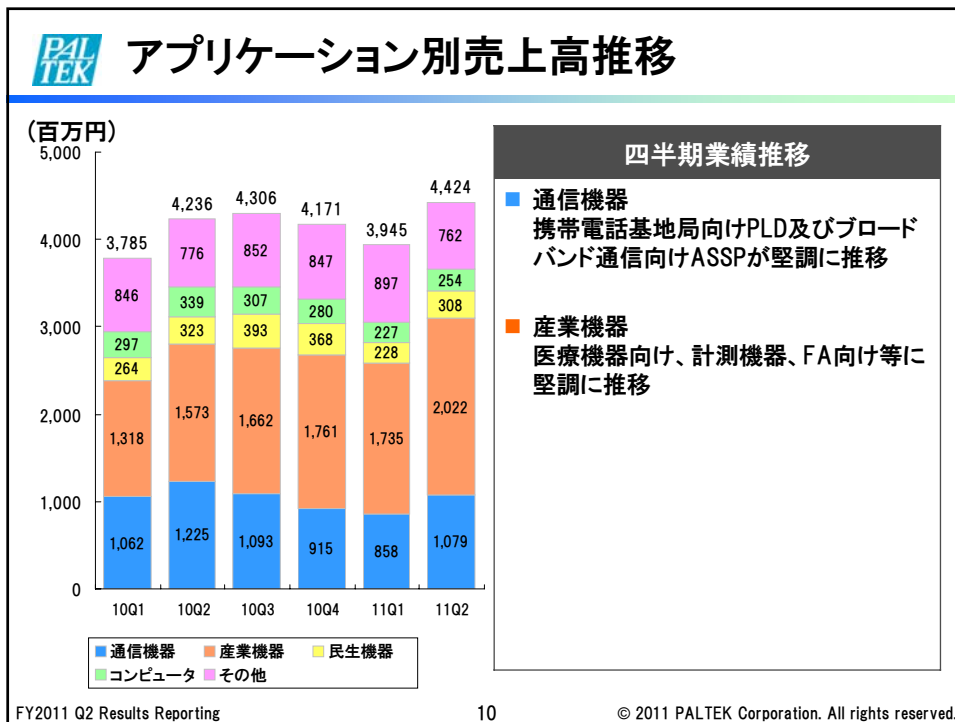
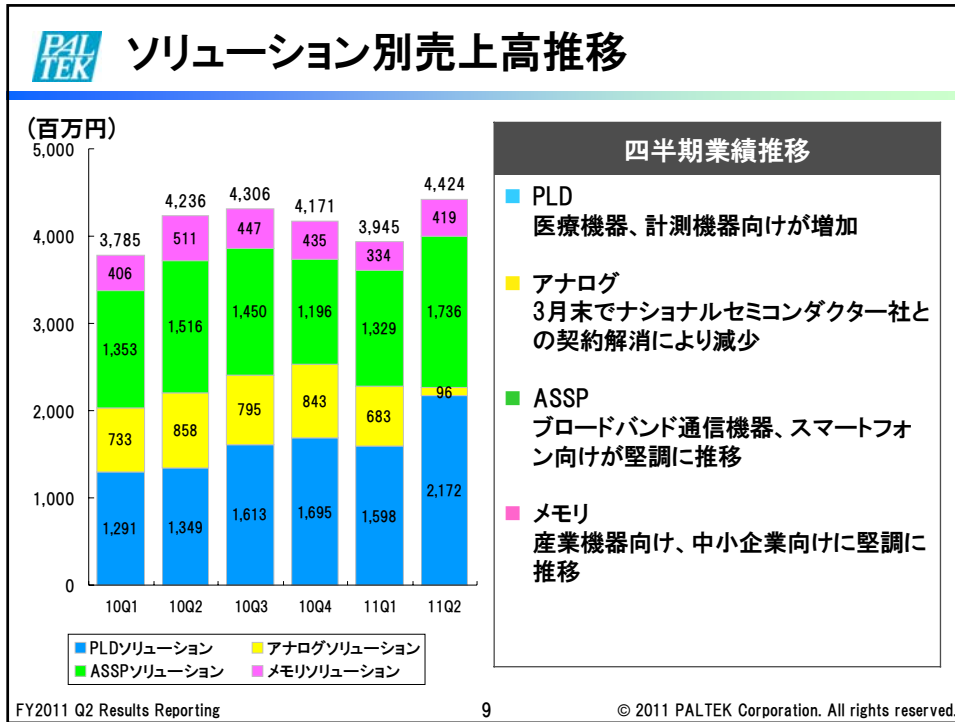
2011年12月期第2四半期 キャッシュ・フロー



FY2011 Q2 Results Reporting

8

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.





2

2011年12月期 業績見通し



業績修正について

7月26日に連結通期業績予想を修正

■ 売上高(下期)

- 震災等の影響により、お客様での新規取扱商品の評価作業が遅延
- 当初第4四半期に見込んでいたスマートフォン向け案件が来期にずれ込む見通し

■ 営業利益ほか

- 下期においても産業機器向け等が堅調に推移する見通しであるため下期の利益水準は変更せず

2011年12月期 業績予想

業績予想の修正

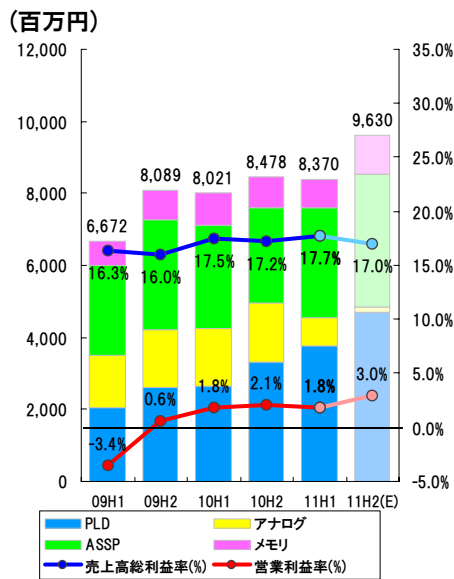
(百万円)	2011年12月期(6/13発表)			2011年12月期(7/26発表)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	8,200	10,000	18,200	8,370	9,630	18,000
売上総利益	1,430	1,640	3,070	1,480	1,640	3,120
売上総利益率	17.4%	16.4%	16.9%	17.7%	17.0%	17.3%
販管費	1,335	1,350	2,685	1,329	1,350	2,679
営業利益	95	290	385	150	290	440
営業利益率	1.2%	2.9%	2.1%	1.8%	3.0%	2.4%
経常利益	95	270	365	170	270	440
当期純利益	20	162	182	54	162	216

FY2011 Q2 Results Reporting

13

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

業績見通しの推移(連結)



通期業績の見通し

- 売上高については、過去にデザイン・ウィンしたプロジェクトのいくつかが立ち上がり、中堅・中小顧客も引き続き回復基調にあるため増加傾向
- 売上総利益率については、下期にかけて量産案件が立ち上がると想定されるため、若干低下する見通し
- 営業利益については、人員増等により経費は増加するが、売上高の増加に伴い営業利益も増加する見通し

FY2011 Q2 Results Reporting

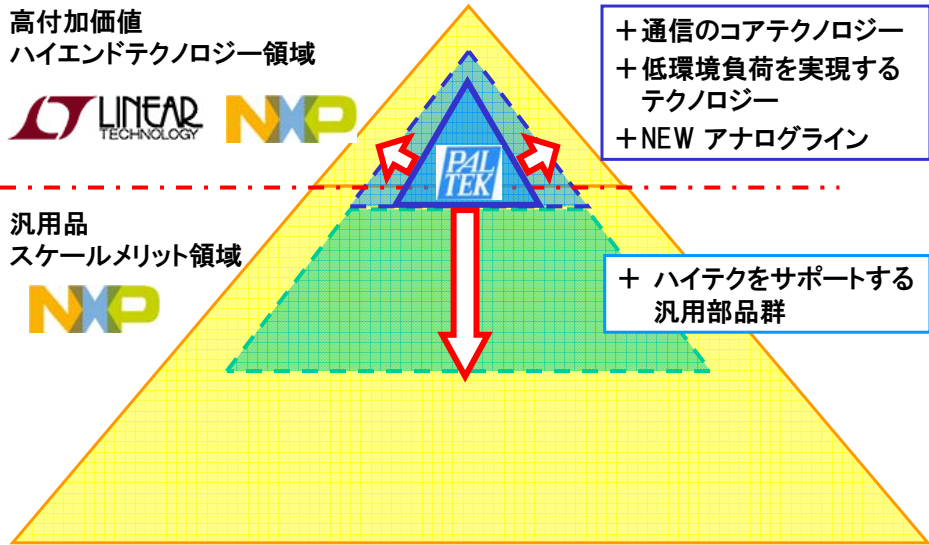
14

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.



3 進捗報告:新規取扱商材の拡充

PAL
TEK **新規取扱商材の拡充**



新規取扱商材の拡充

リニアテクノロジー社



- 1981年創業。高性能アナログICに特化した半導体メーカー
- 2011年度の売上は、14.8億米ドル(過去最高)
- 自社一貫生産体制により、同一製品を複数の工場で生産することが可能。「製造中止無し」を実現

【PALTEKにおける位置づけ】

- 当社の得意とする産業機器分野に強みを持つ製品群
- 当初は、西日本地区を中心に販売活動を実施

新規取扱商材の拡充

NXPセミコンダクターズ社



- 2006年にフィリップス・セミコンダクターズ社から分社した、半導体業界で50年以上の実績を持つオランダの半導体メーカー
- 2010年度の売上は、44億米ドル
- 取扱製品：高性能アナログ、ロジック&インターフェイス、ARMマイクロコントローラ、スタンダード製品
- 主要アプリ：
車載、ID認証、無線通信、照明、産業機器、医療、携帯電話、民生、コンピュータ

【PALTEKにおける位置づけ】

- 幅広い製品群をベースに、システムレベルでの提案を更に加速
- 通信機器および産業機器への更なる付加価値の提供だけでなく、民生機器やモバイル、エネルギー等の分野に対して顧客層拡大

PALTEK システムソリューションを更に強化

- リニアテクノロジー社、NXPセミコンダクターズ社との代理店契約により、大幅に製品ラインナップが強化

パワー
マネジメント



データ
コンバータ



インター
フェース



マイクロ
コントローラ



スタンダード
製品



- 既存取扱製品と共に、幅広い分野に対してシステム提案を提供

産業機器



通信インフラ



セキュリティ



医療機器



モバイル



照 明



4 新たな取り組み：
スマートグリッド事業の本格立ち上げ

PAL **TEK** 時代の転換点が来ている

- 電力危機で、研究投資は新エネ重点
 - 主要企業の研究開発費は前年度比6.1%増
 - 研究テーマは、省エネ:52.6%、新エネルギー(太陽光発電等):41.9%

研究開発投資の上位10社と重点分野例 (日本経済新聞 8月6日 第1面)

順位	社名	研究開発費	重点分野例
1	トヨタ自動車	7600 (4.0)	電気自動車、ハイブリッド車
2	ホンダ	5550 (13.8)	ハイブリッド車、燃料電池車
3	パナソニック	5400 (2.3)	太陽電池、蓄電池、エネルギー管理システム
4	ソニー	4600 (7.7)	電池、ソフトウェア、新素材
4	日産自動車	4600 (15.2)	電気自動車、ハイブリッド車
6	日立製作所	4200 (6.3)	次世代送電網、鉄道、電動化システム
7	東芝	3500 (9.4)	次世代送電網、電池
8	キヤノン	3300 (4.4)	事業関連全般
9	武田薬品工業	3000 (3.8)	糖尿病・肥満、がん、中枢神経系疾患
10	NTT(推)	2700 (0.0)	次世代通信基盤

※単位億円、カッコ内は前年度費伸び率

PAL **TEK** スマートグリッド事業の本格立ち上げ(1)

- PALTEKの強みである『通信』をベースしたアプローチ
 - 有線通信:PLC(電力線搬送通信)
 - 無線通信を活用した「電力見える化」
 - 無線センサネットワークを用いた
次世代工場エネルギー管理システムの研究開発

『通信』をベースとしたアプローチ①

■ PLC(電力線搬送通信)

- PLCを用いた調光システム
 - 既設の蛍光灯向け調光システム、
街路灯の調光システムなどへの応用
- 欧州のスマートメーターにて採用が加速する
PRIME規格PLCを日本市場へ



ADD社PRIME規格
PLC採用
欧州スマートメーター



■ 無線通信を活用した電力の見える化

- 「配電盤回路別の電力の見える化」から、
「個別の機器別の電力の見える化」へ
 - 個別機器の計測が可能となり、
 - 消費電力を0.1Wから計測可能なため、
待機電力も「見える化」
 - ワイヤレス(ZigBee)により工事不要



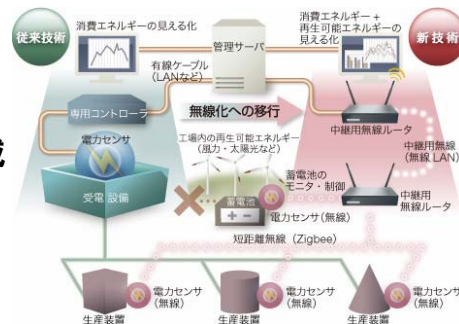
『通信』をベースとしたアプローチ②

■ 無線センサネットワークを用いた
次世代工場エネルギー管理システムの研究開発

- 研究実施者: iD、PALTEK、東北大学
- 経済産業省 平成22年度委託研究
- 無線LANとZigbeeを活用し、次世代型エネルギー管理システム
を構築

【成果】

- 投資コスト:1/2
- 年間10%のエネルギー削減
- エネルギー管理情報の
セキュリティ技術の提供



スマートグリッド事業の本格立ち上げ(2)



- **【新たな取り組み】横浜スマートコミュニティ**
 - スマートコミュニティのあり方、グランドビジョンの策定
 - 具体的な企業、商材でのコラボレーション

横浜スマートコミュニティの設立




- **組織**
 - 代表 : dSPACE Japan 代表取締役社長 有馬 仁志
 - 副代表 : スマートエネルギー研究所 CTO ファウンダー 中村 良道
PALTEK 代表取締役社長 高橋 忠仁
 - 会員構成: スマートエネルギー研究所、dSPACE Japan、PALTEK、アパール長崎、阿部興治建築研究所、安藤建設、大賀建設、スターエンジニアリング、ゼファー、日本TI、パスポート、ホンダソルテック、村田製作所、矢崎総業、WGN、日本電産、岩崎通信機、ファンケル
 - 研究団体 : 崇城大学 エネルギーエレクトロニクス研究所 中原正俊教授、芝浦工業大学 パワーエレクトロニクス研究室 高見弘教授
 - アドバイザー:
YSエネルギー・リサーチ/関西学院大学大学院 客員教授 山藤 泰氏
独立行政法人情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリングセンター
組み込み系プロジェクトサブリーダー 田丸喜一郎氏
 - 支援団体:横浜市
 - 事務局 : PALTEK

横浜スマートコミュニティ構想

Smart Community Energy System

コミュニティ自律型エネルギーシステム



システムから得るエネルギー量を一定に制御することが出来れば、そのシステムは非常に安定な負荷となり得る。同時に、安定な発電前にもなり得る



自然と人間を慈しみ、科学技術は「支援する」という立場に立つ活動哲学

- ・地域における複数の自然エネルギーの有効利用
- ・コミュニティの停電対策とシステムの負荷軽減
- ・停電時、各家庭は、マネジメントセンターから供給する
- ・ハウス間連携
- ・インフラとの接続は商用系統ライン(AC)を使用
- ・モデルベース手法によるスマートコミュニティシミュレータ
- ・スマートパワーモジュールによる多様なエネルギーシステムの実現

Concept - Smart Energy Laboratory 企画・構想：スマートエナジー研究所

FY20
ved.

スマートハウスのメリット

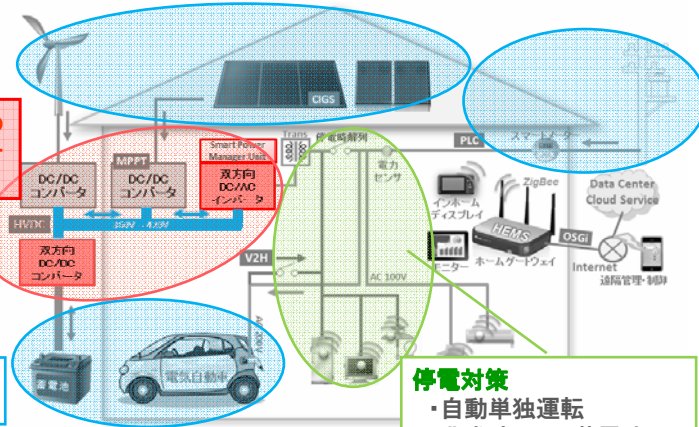



自然エネルギーのスムーズな導入

・系統逆潮流問題の解決

系統電力のピークカット、平準化

・オール電化、EV導入による電力消費量



効果を生み出すために必要なエネルギー制御システム

停電対策

・自動単独運転

・非常時には、蓄電池よりバックアップ

自宅でEV充電

・EV普及促進

FY2011 Q2 Results Reporting
28
ved.



横浜スマートコミュニティの活動①



■ 横浜スマートコミュニティ発足記者会見

- 開催日：6月14日(火)
- 場所：PALTEK 新横浜本社
- 17社のメディアの皆様にご参加いただき、横浜スマートコミュニティについて説明



■ 横浜市主催 横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)フォーラムにて発表

- 開催日：7月15日(金)
- 場所：横浜シンポジア(横浜市中区)
- 主要プロジェクト紹介の中で、東芝、明電舎、日産と並び、横浜スマートコミュニティが発表



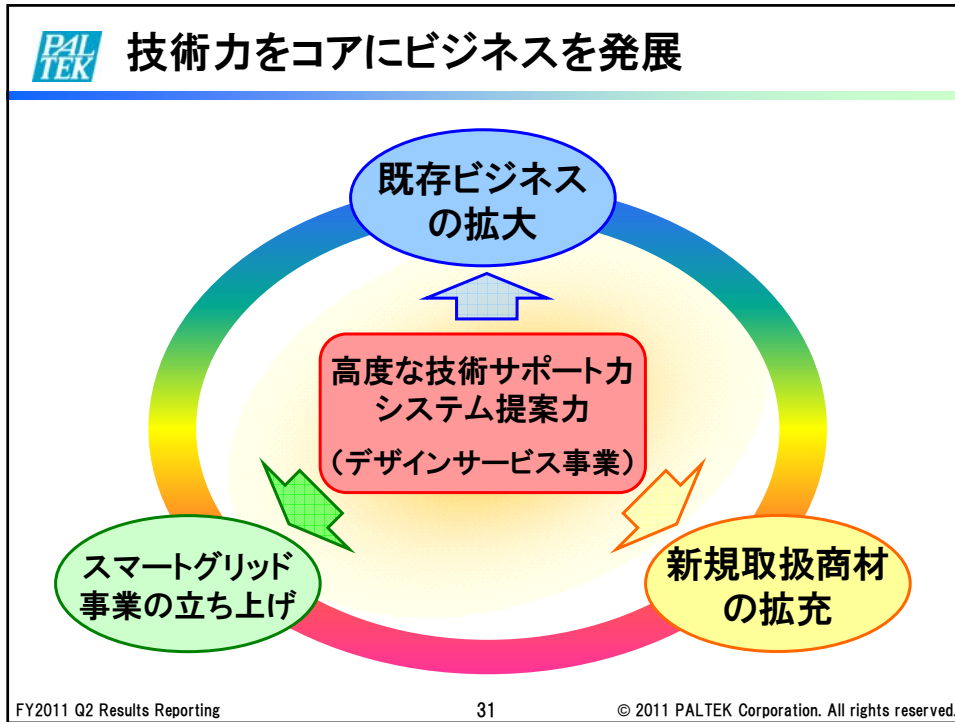
横浜スマートコミュニティの活動②



■ 横浜スマートコミュニティ 参画希望会社向け説明会開催

- 開催日：7月28日(水)
- 場所：波止場会館(横浜市中区)
- 主催：横浜市、横浜スマートコミュニティ
- 70団体、110名が参加。うち入会検討企業は56社にのぼる





PAL IRの窓口

以下の担当までお問い合わせ下さい。

柴崎 由記 (総務グループ IR担当)

株式会社PALTEK
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-3-12 新横浜スクエアビル
TEL :045-477-2016
FAX :045-477-2012
E-mail :ir@paltek.co.jp

FY2011 Q2 Results Reporting 32 © 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したもので、当社グループは、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避及び発生した場合の対応に努める所存であります。

なお、本資料においては、将来に関する事項が含まれておりますが、当該事項は当連結会計年度末現在において判断したものであります。

また、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- ① 国内エレクトロニクス業界の急激な景気変動や需要動向の変化
- ② 仕入先の代理店政策の見直しや再編等により取引関係の継続が困難となった場合
- ③ 不測の事態による当社グループの情報資産が流出した場合
- ④ 為替相場の急激な変動
- ⑤ 新規仕入先商品の立ち上がりの遅れが生じた場合
- ⑥ 顧客の日本国内での製品開発案件が更に海外へシフトし、当社グループの販売活動が及ばない地域へ移管された場合

参 考 資 料

2011年12月期 ソリューション別業績予想

通期業績予想

(百万円)	2010年12月期 実績			2011年12月期 予想		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
PLD	2,640	3,309	5,950	3,770	4,700	8,470
アナログ	1,592	1,638	3,231	779	130	909
ASSP	2,870	2,647	5,518	3,065	3,700	6,765
メモリ	918	882	1,800	753	1,100	1,853
売上高合計	8,021	8,478	16,499	8,370	9,630	18,000
営業利益	147	175	322	151	289	440

FY2011 Q2 Results Reporting

35

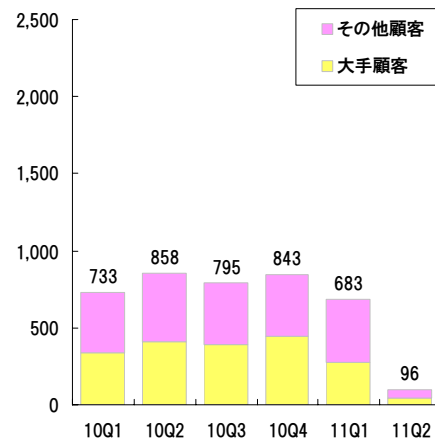
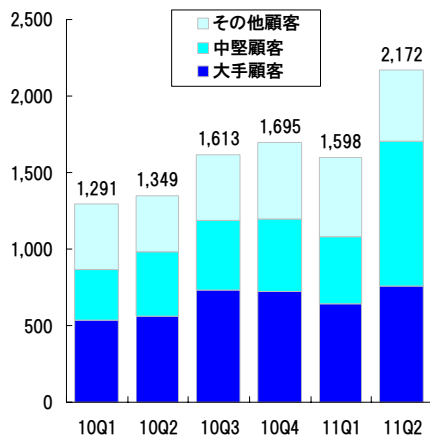
© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

各ソリューションにおける業績推移①

PLDソリューション

アナログソリューション

(百万円)



FY2011 Q2 Results Reporting

36

© 2011 PALTEK Corporation. All rights reserved.

PAL 各ソリューションにおける業績推移②

ASSPソリューション

メモリソリューション

(百万円)

